

「全国・学力学習状況調査」は、文部科学省が今後の教育施策や教育活動の改善に役立てるために、全国の小学校6年生、中学校3年生を対象に毎年実施する調査です。（本年度は4月18日実施）

## 1 調査の目的（文部科学省による調査）

- ①国の義務教育の機会均等と教育水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ②学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。
- ③そのような取り組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 調査内容

### ◎教科に関する調査（国語、算数・数学、英語）

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
  - ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容
- 調査問題では①と②を一体的に問うものとする

※昨年度（H30年度）までの国語A及び算数・数学A「主として『知識』に関する問題」と、国語B及び算数・数学B「主として『活用』に関する問題」の区分を見直し、一体的に調査問題を構成した。

※今年度は、中学校において、初めての英語調査を実施した。

### ◎生活習慣や学習環境等に関する質問調査

|            |          |
|------------|----------|
| 児童生徒に関する調査 | 学校に関する調査 |
|------------|----------|

## 3 分析結果（岡谷市学力向上推進委員会による分析の概要）

### 【教科に関する調査】

- 小学校では、各校の授業改善が進み、国語・算数ともに正答率が県・全国平均を上回っています。
- 中学校では、国語・数学ともに正答率が県・全国平均を上回っています。また、英語は県・全国平均と同等の正答率となり、各校の授業改善の成果が見える結果となっています。

### 【質問紙調査】

- 小学校では、「教師からよいところを認めてもらったり、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて分かるまで教えてもらったりしていると思う」の割合が高くなっています。そのことが、「国語・算数の学習が好き。国語・算数の勉強は大切。授業の内容がよく分かる」の割合の高さにつながっているのではないかと思います。
- 中学校では、「将来の夢や目標をもっている」「家で自分で計画を立てて勉強している」の割合が高くなっています。そのことが、「国語・数学・英語の勉強は大切。国語・数学・英語の学習は将来、社会に出たときに役に立つと思う」の割合の高さにつながっていると思われれます。
- 小学校、中学校ともに、各教科の問題に対して、最後まで解答を書こうと努力した割合が高くなっています。ねばり強く最後まであきらめない姿勢が伺えます。

## 4 今後の課題

- ◇一人一人の実態や課題の把握と、一人一人に即した支援の実施（小学校、中学校）
- ◇宿題等の家庭学習に加え、自分で計画して行う学習の時間及び読書時間の拡充（小学校、中学校）

この分析を、各校の教育活動と授業改善に活かしてまいります。